

(5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

◆ 具体的な取組

- 防災情報の多言語化（6言語対応）等（通年）
- 「やさしい日本語」での情報発信（通年）
- 区内民間施設（日本語学校など）外国人コミュニティとの連携強化
- 交流機会の提供、人材の発掘・育成
やさしい日本語をきっかけとしたコミュニティづくり支援
- 地域イベントの開催
生野まつりで多文化共生ブースの設置
当事者・支援者による自主的な取組への支援

「やさしい日本語から、つながろう」
「やさしい日本語」
缶バッジ・ステッカー



◎ 業績目標

区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると

回答した区民の割合：50%以上＊ 2/2



『子育てにやさしく教育につよいまち』への課題

～「令和2年度 生野区運営方針（案）」より～

こども・子育て環境

- 安心して子育てできるように、**子育て情報を得やすくし、孤立化しがちな子育て世帯が気軽に相談でき、交流できる機会**を設ける等の支援が必要。
- 次世代を担う若い世代を区内へ呼び込むために、区の内外の人々に**安心して子育てできる環境をアピール**することが必要。
- 絵本読み聞かせの必要性や楽しさを知る機会を提供することにより、**親子のコミュニケーションやこどもの知的好奇心を高める**ことが必要。

こども未来

学校教育環境

- 学校配置を見直して小規模校を解消し、適正な教育環境に**することが必要。
- 保護者・地域が連携してこどもを育む**ために、学校に興味・関心を持ってもらうよう、**特色ある学校づくり等について情報発信**を進めることが必要。
- 小中の交流を活性化**し、中学校区単位で児童・生徒のふれあう機会を増やすとともに、その機会を通じて**教員間の交流**を図ることが必要。
- 学校における取組への支援と課外での学ぶ機会を確保し、**こどもへの多様な学習機会を増やす**ことが必要。

令和2年度
主な取組

安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
子育てが楽しくなるまちづくり

未来を生き抜く力の育成
次世代の学校づくり（学校配置の見直し・「生野の教育」の実現）
学校跡地を核としたまちの活性化

未来を生き抜く力の育成
まちの教育力を上げる

(1-1) 子育てが楽しくなるまちづくり

区予算算定見込額 1,313千円

◆現状・課題

- 少子高齢化、核家族化が進み、安心して子育てできる環境が整っていない。
- 育児不安やストレスを感じた際に相談できる相手がおらず、孤立する恐れがある。

◆具体的な取組

●子育て応援イベント

「いくのっ子広場」

- ・ 子育て支援団体等が中心となって実施する子育て応援イベントの開催。
(1回以上開催)



●生きるチカラを育む絵本プロジェクト

- ・ 3か月児・1歳6か月児健診時での絵本サポーターによる読み聞かせや、絵本の楽しさを感じてもらうため「絵本日記」を子育て支援機関と作成、**親と子の豊かなコミュニケーション醸成やこどもの知的好奇心・学習意欲の向上を図る。**

(1-1) 子育てが楽しくなるまちづくり

●子育てに関する効果的な情報提供

- ・子ども・子育てプラザの子育て情報サイト “**いくのde育～の**”を活用して地域の子育て支援情報などが効果的に届くよう工夫する。
- ・区長による「**いくみん子育て通信**」の発行
- ・「**にこにこいくのっこだより**」の発行



◎業績目標

- 子育て応援イベント参加者数：前年度以上

※令和元年度実績：1,489名（12月末時点）

- 子育て情報サイト“いくのde育～の”のアクセス数：前年度以上

※令和元年度実績：6,426件（12月末時点）

(2-1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し)

生野区西部地域学校再編整備計画の推進について

生野区西部地域学校再編の概要

(4中4小 ← 5中12小)

○ 新小 (もと東桃谷小)	←	北鶴橋小	鶴橋小	東桃谷小	勝山小
◇ 桃谷中 (もと勝山中) +	←	もと鶴橋中		もと勝山中	
△ 小中学校の学校再編 まで第2運動場 ↓ △ もと鶴橋小 第2運動場					
○ 新小 (もと中川小)	←	御幸森小	中川小	金沢寺小 (一部)	
◇ 大池中	←	大池中			
○ 新小 (もと西生野小)	←	林寺小	生野小	西生野小	金沢寺小 (一部)
◇ 生野中	←	生野中			
○ 新小 (田島中内) +	←	田島小		生野南小	
△ もと田島小 (第2運動場)	←				
◇ 田島中	←	田島中			



【業績目標】

学校設置協議会の設置：4 中学校区



いづれも未来

(2-1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し)

生野区西部地域学校再編整備計画の推進について



◆ 今後の具体的な取組

- 「生野中学校区」の再編 ※令和4年4月開校予定
「生野中学校区 学校設置協議会」(仮称)において協議を行う。
- 「田島中学校区」の再編 ※令和4年4月開校予定
今後、「学校設置協議会」(仮称)を早期に設置し協議を行う。
- 「大池中学校区」の再編
 - ・御幸森小学校と中川小学校の再編 ※令和3年4月開校予定
「御幸森小学校・中川小学校 学校設置協議会」において協議を行う。
 - ・大池中学校区の再編
今後、各小学校区・PTAと意見交換を行い、「学校再編整備計画」を策定
- 「桃谷中学校区」の再編
今後、各小学校区・PTAと意見交換を行い、「学校再編整備計画」を策定

(2-2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現)

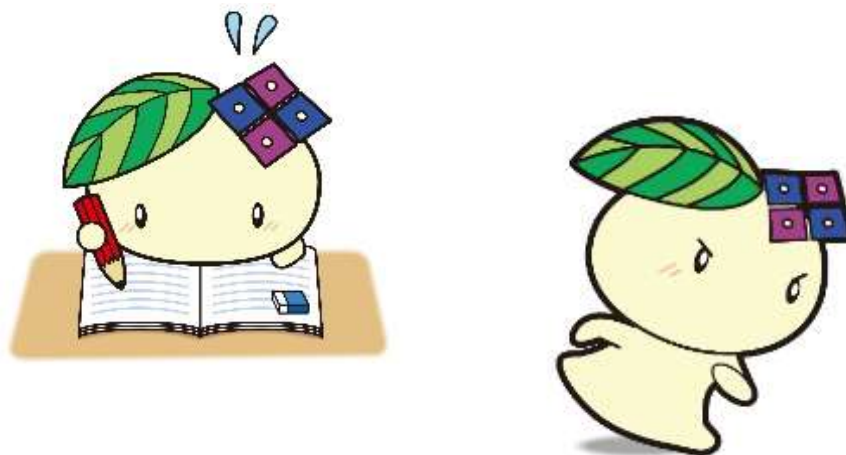
◆具体的な取組

区担当教育次長予算算定額 1,542千円

●学び支援事業

模擬検定等の受検を学校が活用できる機会を提供

⇒ **児童の学力状況の把握および自主学習習慣の確立と学力・体力の向上**をめざす。



◎業績目標

参加者に対し事業実施後にアンケートを行う。

⇒ **学習意欲の有無**を問う質問に対して、

肯定的な回答の児童の割合：70%以上

1/4

(2-2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現)

区担当教育次長予算算定額 159千円

◆具体的な取組

●民間事業者等を活用した課外授業『いくの塾』

民間事業者等を活用した『課外学習』

⇒**基礎学力の向上と学習習慣の定着**をめざす。

区内に3つの拠点会場（生野中学校・巽中学校・生野区民センター）を設け課外学習を実施。



◎業績目標

参加者に対し事業実施前と後にアンケートを行う。

⇒「**1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか**」
という問に対する回答として、「**全くしない**」と答える
生徒を**半減**させる



(2-2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現)

※くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

区予算算定見込額 3,143千円

◆具体的な取組

●生きるチカラを育む課外授業 ※こどもの貧困対策関連の取組

民間事業者等を活用した大学生等による『悩み相談』と『課外学習』

⇒ 基礎学力の向上と自己肯定感の醸成をはかり、「自ら学ぶ力」の定着をめざす。

令和2年度 開校予定（令和元年度に引き続き4校）

大池中・東生野中・田島中・新生野中



◎業績目標

参加者に対し事業実施前と後にアンケートを行う。

⇒ 「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という問に対する回答として、「30分より少ない」「全くしない」と答える生徒の割合を半減させる



(2-2) 次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現)

※くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

◆具体的な取組

区予算算定見込額 1,589千円

●生きるチカラまなびサポート事業 ※こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」を学校の要請に応じて派遣

⇒ 登録講師や講座数を増やすなど、より学校が使いやすい仕組みとする



【プログラミング授業】



【赤ちゃんともふれあう授業】

◎業績目標

児童・生徒に対し、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問について、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」といった否定的な回答を答える受講者の割合：

小学校、中学校とも、6.0%未満

4/4

(2 - 3) 次世代の学校づくり(学校・教育コミュニティ支援)

◆具体的な取組

区担当教育次長予算算定額 1,241千円

●小・中学校交流かけはし事業

進学先の中学校の生徒や同じ中学校へ進学する他校の児童との交流促進を図り、児童の中学校生活へスムーズな移行を目指す

⇒ 区内全8中学校区単位で、小中学生の交流事業等の開催を支援

◎業績目標

交流事業を通して**中学校生活に対する
不安が解消された児童の割合：80%以上**



【小学校同士の交流】



【年間を通した交流（英語授業）】

(3) まちの教育力を上げる

生涯学習の推進

区予算算定見込額 1,168千円

◆現状・課題

区内19校下に**生涯学習ルーム**を開設することにより、区民の生涯学習活動を支援し、**区生涯学習ルームフェスティバル**などのイベントにおいて、学びの成果を発表している。

引き続き、生涯学習推進員と連携し、地域行事等で学びの成果を還元できるよう支援し、**地域における多世代交流を促進**する。

◆具体的な取組

- 区生涯学習ルームフェスティバルの開催 1回
- 生涯学習ルームの開設 19校下
- 生涯学習連絡調整会議の開催 10回



◎業績目標

参加者アンケートで「区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等に活かすことができましたか」という問いに対し、「できた」と答えた割合：60%以上

(4) 学校跡地を核としたまちの活性化

区予算算定見込額 17,658千円

学校跡地を核としたまちづくりの取組みについて

生野区西部地域学校再編整備計画の進捗に合わせて、学校跡地を核としたまちの活性化に寄与する跡地活用方法を検討する。

【今後の方向性】

令和元年6月に策定した「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」を基に、小学校ごとの校舎と校地の具体的な活用・運営計画を策定することとしており、その策定にあたって小学校ごとに「学校跡地検討会議」を設置し、地域・事業者ニーズ等のご意見をお聞きしながら、みんなで作る持続可能な「みんなの学校」をめざして検討。

生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想
まちぐるみ教育とみんなの学校で実現する再生ヴィジョン

～概要版～



(4) 学校跡地を核としたまちの活性化

◆取組の進捗状況

- 「『再生』まちづくり講演会－生野の未来を考えよう－」開催
平成30年7月～平成30年12月開催（全6回）
- 区民ニーズ調査アンケート実施
平成30年11月～12月実施
- 「生野区リノベーションまちづくりフォーラム」開催
平成31年2月開催
- 「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」策定
令和元年6月策定
- 小学校区ごとの「学校跡地検討会議」
「生野小学校 学校跡地検討会議」 令和元年7月発足
「御幸森小学校 学校跡地検討会議」 令和元年8月発足
- 「みんなの学校会議」開催
令和元年9月開催
- 「参画エントリー会議」開催
令和元年11月開催
- 小学校跡地活用の基本計画・事業計画（案）の策定（御幸森小、生野小）
令和2年3月下旬予定



『いゝろどり豊かな魅力のあるまち』への課題

～「令和2年度 生野区運営方針（案）」より～

- 区の人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちとなるためには、主に**若年・子育て層の移住・定住を促進**させることが必要。
- 区の重要な地域資源のひとつである**製造業事業所数の減少を防ぐ**ためには、次世代の育成や住工混在問題の解決のため、**ものづくり企業の重要性を周知し、区民の理解を図る**ことが必要。
- 区の**空き家を地域資源として、建物所有者による自主的な利活用**が進むよう、地域主体の取組への支援が必要。
- 区に存在する多様な地域資源を発掘し、魅力あるものに高めていくとともに、**区民のまちに対する愛着や誇りが高まる**ような取組や区の魅力・特色を区の内外に向けて効果的に情報発信し、**区に訪れ、住んでもらえるよう戦略的なプロモーション**が必要。

『まちづくり協議会による自律的な地域運営の促進』への課題

～「令和2年度 生野区運営方針（案）」より～

- 全地域一律ではなく、**地域の実情に即した最適な支援**が必要。
- まち協議会への**理解が深まる**ような「働きかけ」や「情報発信」が必要。